

経済学部A方式Ⅱ日程・社会学部A方式Ⅱ日程
スポーツ健康学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～17	日 本 史	18～35
世 界 史	36～53	地 理	54～61
数 学	62～63		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学は以下の注意事項に従うこと。
 - ・ 解答用紙の所定の欄に受験学部を○で囲むこと。
 - ・ 解答はおもて面と裏面の所定の位置に記入すること。
 - ・ 解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・ その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・ 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

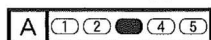
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

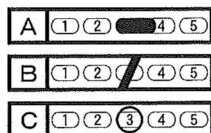
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(日 本 史)

〔 I 〕 次の会話文とリストの文章を読み、下記の問いに答えよ。

学生：先生、私の研究課題、日本と鉄に関連したテーマにしようと思うのですが。

教授：それは面白いね。昔から国にとっても我々の暮らしにとっても鉄はとても重要なんだ。いいところに目をつけたね。

学生：やったあ！ ありがとうございます。でも、漠然としすぎていて、どこから手をつけたらいいのかよくわからなくて。アドバイスいただけたら、嬉しいです。

^(a) 教授：君が何に興味を持てるのかが一番大事だね。日本と鉄の関わりの歴史はとっても長いんだ。江戸から明治にかけての鉄の利用や鉄づくりの近代化などもダイナミックで面白いよ。江戸時代には鉄の道具が進化して暮らしや農業の発展に大きく貢献したんだ。幕末には雄藩が西洋式製鉄所の建設に努力しているし、明治期には国や民間で努力が重ねられた。去年、ユネスコの世界遺産登録に関連して、幕末から明治にかけての近代製鉄関連施設が改めて注目されたよ。

学生：はい、ユネスコの世界遺産登録で話題になったのをきっかけに、鉄に興味をもちました。すごく、面白そうだった。でも、それだけじゃなくて農業の発展、いろんな日本の歴史の転換に鉄が大きく関わっているのですね。鉄と日本と歴史、思った以上に関係が深そうですね。

教授：そうだね。昔から日本の歴史のいろんなところで鉄に絡んだ話はでてくるんだ。『古事記』に書かれた神話の中にも、アマテラスの岩戸隠れの話、スサノオのヤマタノオロチ退治など、いろいろあるよ。ヤマタノオロチの話は鉄をめぐっての争いが題材だとも言われているんだ。

学生：ヤマタノオロチと鉄の話、聞いたことがあります。たたら製鉄が関係あるって。神話時代、そんなに昔から日本で鉄づくりが行われていたのですか？

教授：う～ん。『古事記』から推測される年代と、日本で鉄づくりがはじまったとされる年代は大きく食い違いがあるんだ。『古事記』が書かれた年代にはすでに日本で鉄づくりがおこなわれていたから、関係について調べてみるのも面白いと思うよ。

学生：はい、それもとっても興味がわきます。大昔の鉄をめぐる争いと神話の形成、ロマンがあります。実際のところ、日本と鉄の関係のはじまりはどんな感じだったのですか？

(b) 教授：はじめのころ日本へは道具や武具など完成品の形で鉄が持ち込まれていたと考えられているんだ。そのうち大陸や朝鮮半島から鉄材料を持ってきて熱して叩いて、自分たちに適した道具や武具などをつくるようになったんだ。古墳から「鉄てい」と呼ばれる鉄の延べ棒が見つかっていて、それが鉄材料だという人もいるよ。朝鮮半島南部からもたらされる鉄はその当時の日本にとってとても貴重で重要だった。日本が朝鮮半島の争いに関わったのは鉄資源確保の意味合いも大きかったみたいだよ。争いは日本にいろんな影響を与えた。騎馬による戦いや鉄の馬具などももたらされたし、多くの渡来人によって最新技術が持ち込まれた。争いの前後でお墓の副葬品が大きく変わっているし、出土品に刻まれた文字からわかったことも多いんだ。実際にいろいろ見てみるととても興味深いと思うよ。渡来人で鉄に関わった人たちの子孫が秀吉という説もあって、鍛冶の神様としてお祀りしている神社もあるよ。

学生：鉄をめぐる旅、楽しそうですね。

教授：そうだね。鉄に関連した場所は全国各地にあるよ。参考になるリストと地図をあげるから、春休みに興味をもてそうな場所を訪れてみて、それからテーマを考えてもいいんじゃないかな。

学生：面白そう。そうします。今日はありがとうございました。

【リスト】

- ① ドイツの技術を導入し1901年に操業開始した高炉による製鉄所。度重なるトラブルで順調に稼働するまで数年間を要したが、トラブル改善を通じて製鉄技術が蓄積された。
- ② 1907年に設立された民間の製鋼会社。三井資本と英国のアームストロング、ヴィッカーズ両兵器会社が共同出資した。
- ③ 1880年代に政府から田中長兵衛に払い下げられた鉱山。近隣で日本初と言われる西洋式高炉が完成した。「鉄の記念日」の12月1日はそこで製鉄が成功した日にちなむ。
- ④ オランダの書物などに基づき1850年に日本ではじめて、再溶解炉である反射炉をもった製鉄関連施設を完成させた藩。この施設の耐火レンガには地元の名産技術が活用された。
- ⑤ 1853年のペリー来航を契機に幕府が蘭学に詳しい江川英龍(竜)代官に鉄製大砲用の反射炉の建造を許可し、この場所に完成させた。稼働した反射炉として日本で唯一ほぼ完全な形で現存する。
- ⑥ 1575年、大量の鉄砲を用いた軍勢が強力な騎馬隊の軍勢に勝利した戦い。
- ⑦ 古代から近世にかけて足踏み式のふいごで炉に風を送り込むたたら製鉄法が行われた地域。この地域の風土記はほぼ完全に残っている。
- ⑧ 「辛亥」と見られる文字ではじまる銘文が刻まれた鉄剣のゆかりの場所。
- ⑨ 雄略天皇とみられる人物の名が刻まれた鉄刀のゆかりの場所。
- ⑩ 日本最大の前方後円墳。鉄刀や甲冑などの副葬品が発見された。
- ⑪ 「泰和」と見られる文字ではじまる銘文が刻まれた枝のある鉄剣のゆかりの場所。
- ⑫ 「王賜」と見られる文字ではじまる銘文が刻まれた鉄剣のゆかりの場所。

日本史

問2 【リスト】の①～⑫の下線部に対応するもっとも適切な場所を【地図】のA～Hからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。同じ記号を何度使ってもかまわない。

問3 教授の下線部(a)の発言に関し、17世紀から18世紀ごろにかけての鉄に関する次の文を読み、正しければア、誤っていればイを解答欄にマークせよ。

- ① 砂鉄を原料としたたたら製鉄が盛んとなり、そこでつくられた良質な銅が商品として全国に普及して多様な鉄の道具に加工された。
- ② 佐渡鉾山の金と鉄の産出量増大が東北の製鉄業の発展を促し、他の地域の製鉄業を圧倒するようになった。
- ③ 鉾山業で培われた鉄の道具や技術の転用で多くの土地が耕作可能になり、農業の発展に大きく寄与した。
- ④ 鉄製農具の備中鋤が広く普及し、耕作地を深く耕せるようになった。これにより農業生産が向上した。
- ⑤ 薩摩藩で熱のはね返りを集中させて温度を高める製鉄法が開発され、その原理を用いた製鉄所が築造された。

問4 教授の下線部(b)の発言に関し、以下の文章を読み、 ~
 にあてはまるもっとも適切な数字や時代を下記のア～セからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

わが国の鉄は中国や朝鮮半島からもたらされたと考えられている。中国では紀元前 世紀ごろから鉄器の使用がはじまり、農業生産の向上にも寄与した。わが国で本格的に鉄器が伝来して一般的に広まったのは 時代と考えられている。鉄器の伝来当初は完成品の輸入としてであった。やがて材料となる鉄を輸入し、必要量を切り取り、鍛冶によって鉄を溶かさずに道具・武具を製作するようになったと考えられている。こうした鍛冶による道具・武具の製作に大陸や朝鮮半島からの鉄資源の輸入は非常に重要であった。 世紀後半に高句麗が南下策を進めると、朝鮮半島南部の鉄資源を確保するためもあり、関係のあった加耶諸国や百済とともにわが国も高句麗と争うことになった。このころ多くの渡来人が鉄や鉄器の生産などさまざまな技術をわが国に伝えた。鉄を溶かすことによる鉄づくりがわが国で広く普及していったのはそれ以降との考えが一般的である。

- | | | | | |
|-------|------|------|------|------|
| ア 1 | イ 2 | ウ 3 | エ 4 | オ 5 |
| カ 6 | キ 7 | ク 8 | ケ 9 | コ 10 |
| サ 旧石器 | シ 縄文 | ス 弥生 | セ 古墳 | |

日本史

〔Ⅱ〕 次の史料A～Gと図1～4を見て、下記の問いに答えよ。

〔史料〕

〔備考〕 史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。

- A 一 文武忠孝を励し、礼儀を正すべき事。
(a) 一 養子は同姓相応の者を選び、……五拾以上十七以下の輩末期に及び養子致すと雖も、吟味の上之を立つべし。……
附、殉死の儀、弥制禁せしむる事。
- B 朝倉が館之外、国内^(にか)城郭を為し構ましく候。惣別分限あらん者、一乗谷へ
(b) 引越、郷村には代官計可_レ被_レ置事。^(c)
- C 一 当所中樂市として仰せ付けらるるの上は、諸座・諸役・諸公事等、こと
(d) ごとく免許の事。^(e)
一 分國中徳政_(f)これを行うといえども、当所中免除の事。
- D 一 日本ハ神国たる処、きりしたん国より邪法を授け候儀、太以て然るべからず候事。
(g)
一 黒船の儀ハ商売の事に候間、各別に候の条、年月を経、諸事売買いたす
(h) べき事。⁽ⁱ⁾
- E 一 寺社本所領の事……
(j) 次に近江・美濃・尾張三ヶ国の本所領半分の事、兵糧料所として、当年一作、軍勢に預け置くべきの由、守護人等に相触れ訖んぬ。
- F 一 男女衣類の事、……庄屋は絹紬・布・木綿を着すべし。わき百姓は布・
(k) (l) (m) (n) もめんたるべし。……
一 御料・私領共に、本田畑にたばこ作らざるように申しつくべき事。
(o)

G 一 諸国守護人奉行の事

右、右大将家の御時定め置かるる所は、大番催促・謀叛・殺害人^(q) 付たり夜討・強盗・山賊・海賊
等の事^(p)なり。

一 御下文^(r)を帶すと雖も知行せしめず、年序を経る所領の事^(s)

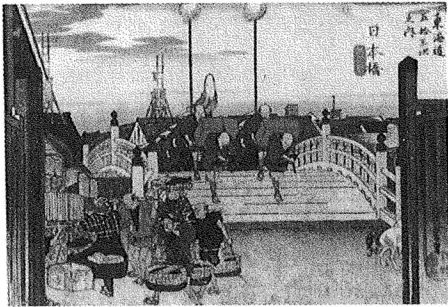


図 1



図 2

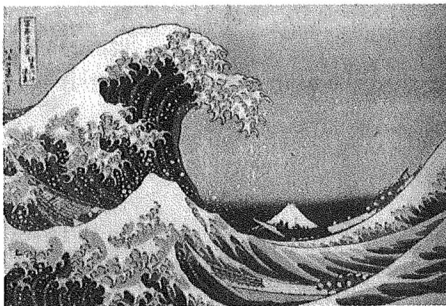


図 3



図 4

問1 史料A～Gについて古いものから年代順に配列したとき、2番目、4番目、6番目にくる史料の記号を解答欄にマークせよ。

日本史

問2 下の(1)～(2)は、史料A～Gとそれらの下線部(a)～(s)、図1～4に関連した正誤問題である。以下の各文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下の解答群ア～エのうちからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

[解答群]

ア	X	正	Y	正	イ	X	正	Y	誤
ウ	X	誤	Y	正	エ	X	誤	Y	誤

- (1) X (a)は、主君に対する忠と父祖に対する孝、それに礼儀による秩序を要求したものである。
Y 史料Aでは、五百石以上の船の建造がはじめて禁止された。
- (2) X 史料Aが発布されたのち、富士山が大噴火し、幕府はその被災地を復興するため、全国に「諸国高役(国役)金」を高100石について2両の割合で徴収することを命じた。
Y 史料Aが発布された翌年、近親者に死者があったときに、喪に服したり忌引をする日数を定めた法令が出された。
- (3) X (c)は、のちに朱印船貿易の港として栄え、中国産生糸の輸入拠点となった。
Y 史料Bが出されたころ、各地の大名は多数の地侍を有力家臣に預ける形で組織化していった。
- (4) X (b)は斯波氏の重臣で、のちに主家をしのいで越前守護に成長した。
Y (b)は近江の浅井氏とともに姉川の戦いで滅亡した。

- (5) X 史料Cの以前、幕府は(f)を求める一揆に対し、段銭の納入を条件に債務の破棄を認める(f)令を頻繁に出した。
- Y (e)の中には、大寺社・天皇家から与えられた神人・供御人の称号を根拠に、関銭の免除や広範囲の独占的販売権を認められて、全国的な活動をみせたものもあった。
- (6) X (d)は、現在の滋賀県内にある。
- Y 史料Cは、商工業者に自由な営業活動を認める法令で、都市や商工業を重視する政策のひとつであった。
- (7) X 幕府は、史料Dの(h)があらわれた翌年、燃料と食料の供給、難破船や乗組員の救助、2港開港と領事駐在などを認める条約を米国と結んだ。
- Y 史料Dのころの(i)では、生糸・茶・蚕卵紙などの農産物やその加工品が輸出され、毛織物などの繊維製品や鉄砲・艦船などの軍需品が輸入された。
- (8) X (i)が奨励されたので、貿易活動と一体化した(g)を禁止することは不徹底に終わった。
- Y 史料Dが出されたのち、サン＝フェリペ号事件が起きた。
- (9) X 史料Eは、1年限りのもので、明徳の乱で戦闘が激しかった史料中の3国に限定されていたが、やがて全国的に、また永続的におこなわれるようになった。
- Y 史料Eの発令は地頭請所がはじまるきっかけになった。

日本史

- (10) X 寄進を受けた荘園の領主は領家と呼ばれ、この荘園が有力皇族などに重ねて寄進されたとき、上級の領主は本家と呼ばれた。このうち実質的な支配権を持つものを(i)といった。
- Y 史料Eを出したのち、幕府は、田畑11町ごとに1町の土地、段別5升の加徴米、山野河海の収益半分、の給与を地頭に新たに保障した。
- (11) X (o)は、四木三草の四木の一つである。
- Y 史料Fが出されたところに座繰製糸が普及して生糸の生産が増え、(l)に加え、羽二重生産がさかんになった。
- (12) X 下総の佐倉惣五郎は、(k)として(n)らを率いて、全藩一揆を起こした。
- Y (m)は、当初の高機による生産から、地機による生産になっていった。
- (13) X 史料Gが出されたころの守護の主な職権には、(q)に加えて、幕府の裁判の判決を強制執行する権限があった。
- Y (p)が将軍のころの武家社会では、宗家と分家の集団は一門・一家と呼ばれて惣領制にもとづいていた。
- (14) X 史料Gでは、(s)について「当知行の後、廿ヶ年を過ぎば……改替に能はず」と取得時効を定めている。
- Y (r)とは、幕府が出す本領安堵・新恩給与の下文のことである。
- (15) X 図1は、歌川広重による一枚刷りの多色刷浮世絵版画である。広重の絵は安価で広く普及した。
- Y 図1にある鮮魚を運ぶ肴売りのような棒手振に従事していた人たちの多くは、「九尺二間」といわれるような裏店に居住した。

- (16) X 五街道は、図1に描かれている日本橋が起点とされ、多くの宿駅がおかれ、一里塚や橋・渡船場・関所などの施設が整えられた。
Y 図1について、江戸には日本橋魚市場のほか、枇杷島青物市場があった。
- (17) X 水墨画は墨の濃淡で自然や人物を象徴的に表現するもので、図2を描いた周文のほか、明兆・如拙らによって日本の水墨画の基礎が築かれた。
Y 座禅の中で師から与えられる問題を公案といい、臨済宗はこれの一つひとつ解決して悟りに達することを主眼とする。図2は公案の一つを図示したものである。
- (18) X 図2の作者は『寒山拾得図』を描いたと伝わっている。
Y 図2の作者は、図4の作者に学んだのち、遣明船で明に渡り、作画技術を学んだ。
- (19) X 図3には、大波に翻弄されながら南海路を行く菱垣廻船が描かれている。
Y 図3は葛飾北斎の『富嶽三十六景』の中の1枚で、「神奈川沖浪裏」である。
- (20) X 図3のような手法で制作された絵画は、海外に多く紹介され、モネやゴッホらヨーロッパの印象派画家たちに大きな影響を与えた。
Y 図3の作者によって描かれた『名所江戸百景』では、「大はしあたけの夕立」がよく知られる。

日本史

- (21) X 図4は、雪舟による『四季山水図巻』の一幅で、冬景を描いたものである。
- Y 図4は、海北友松による『山水図屏風』で濃墨の鋭い筆勢で描かれている。
- (22) X 図4が描かれたころ、『大徳寺大仙院花鳥図』が狩野元信により描かれたと伝わっている。
- Y 図4が描かれたころ、狩野山楽により『松鷹図』が描かれた。

〔Ⅲ〕 次のA, Bを読み, 下記の問いに答えよ。

A 明治維新以後, 財政の安定化という課題に直面する新政府は, 土地制度と税制の改革に着手した。新政府は, 1871年に田畑勝手作りを許可し, 翌年には [1] を解いて, 土地の私的所有権を認める [2] を地主と自作農に与えた。そして1873年に地租改正条例を公布して, 地租改正を実施した。しかし, 地租改正反対一揆が日本各地で起き, 1877年政府は税率を引き下げた。

^(b)このころ, 政府は西南戦争の戦費を調達するために, 不換紙幣を増発していた。同時に, 国立銀行も不換銀行券を発行していたため, 激しいインフレーションが起こり, 銀貨に対する紙幣の価値が下落した。その結果, 地租を中心とする政府の歳入は実質的に減少して, 大きな財政困難を招いた。1881年に大藏卿に就任した [3] は, 大規模な財政改革に取り組んだ。改革のあとも, 農民の負担は重く, 多くの自作農が土地を手放して小作農に没落した。他方, 自らは農業経営をせず, 小作人に貸し付けて高額の現物小作料に依存する [4] が急成長して, 農村で貧富の差が進んだ。

政府が軍備拡張を続けたため, 軍事費は削減されず, 政府の歳入は緊迫したままだった。1898年に発足した第3次伊藤博文内閣は, 地租増徴などの増税案を議会に提出したが, 否決された。同年, [5] を首班とする内閣は憲政党の支持を得て, 地租を2.5%から3.3%に上げる増徴案を実現した。

問1 [1] にあてはまるもっとも適切な語句を下記のア～エから一つ選び, その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|--------------|---------|
| ア 田畑永代売買の禁止令 | イ 分地制限令 |
| ウ 相対済し令 | エ 寺請制度 |

問2 [2] にあてはまるもっとも適切な語句を下記のア～エから一つ選び, その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|----------|------|
| ア 金禄公債証書 | イ 戸籍 |
| ウ 計帳 | エ 地券 |

日本史

問3 下線部(a)の説明として誤っているものを下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 課税基準を収穫高から地価の3%に変更した。
- イ 納入方法を物納から金納に改めた。
- ウ 納税者を土地所有者に定めた。
- エ 収穫の豊凶に応じて税率を増減させた。

問4 下線部(b)が起こった理由として誤っているものを下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 米価が高騰したから。
- イ 山林や原野などの入会地のうち、所有権の立証できないものが官有地に編入されたから。
- ウ 旧来の歳入を減らさないようにするため、地租が高額のまま維持されたから。
- エ 永小作の特権がはく奪されたから。

問5 下線部(b)の事例として正しいものを下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 茨城県では、真壁騒動が起こった。
- イ 山口県では、萩の乱が起こった。
- ウ 酒田県では、ワッパ騒動が起こった。
- エ 埼玉県では、秩父事件が起こった。

問6 3 にあてはまるもっとも適切な人物を下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 板垣退助 イ 植木枝盛 ウ 大隈重信 エ 松方正義

問7 下線部(c)に関連して誤っているものを下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 日本銀行を設立して、銀兌換の銀行券を発行した。
- イ 工場建設などを中心に官営事業を推進した。
- ウ 軍事費以外の歳出を抑制し、歳入の余剰で不換紙幣を処分した。
- エ 厳しい財政緊縮の結果、米や繭など物価が大きく下落し、深刻な不況が訪れた。

問8 にあてはまるもっとも適切な語句を下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 寄生地主
- イ 財閥
- ウ 名主
- エ おとな(乙名・長)

問9 にあてはまるもっとも適切な人物を下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 西園寺公望
- イ 桂太郎
- ウ 大隈重信
- エ 山県有朋

問10 下線部(d)の説明として誤っているものを下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 1898年に自由党と立憲改進黨が合同して結成された。
- イ 結党後、はじめての政党内閣である隈板内閣を組織した。
- ウ 党内対立が激化した結果、憲政党と憲政本党に分裂した。
- エ 1900年に解党して、伊藤博文派の官僚とともに立憲政友会を結成した。

問14 と にあてはまる割合の組み合わせについて、もっとも適切なものを下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 約1割 — 約5割

イ 約5割 — 約1割

ウ 約9割 — 約1割

エ 約1割 — 約9割

問15 にあてはまるもっとも適切な語句を下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 公正取引委員会

イ 農業報国会

ウ 農工銀行

エ 農業協同組合